

# 源氏物語の世界

平成23年 11月12日(土)～12月11日(日)

紫式部によって著された『源氏物語』は、今からおよそ千年前の平安時代に成立しました。『源氏物語』は、その成立以降現在にいたるまで、わが国を代表する古典として読み継がれ、書き継がれてきました。蓬左文庫には、重要文化財『源氏物語』を筆頭に、さまざまな写本や注釈書などが所蔵されています。

また、『源氏物語』を絵画化した「源氏絵」は、物語成立後ほどなくして製作されるようになったと考えられており、平安時代以降、各時代を通じて享受されました。絵巻や屏風・色紙など、さまざまな画面形式に描かれた源氏絵が今に伝えられています。蓬左文庫と徳川美術館が所蔵する書籍や源氏絵など、『源氏物語』にちなんだ作品を特集展示します。

No.	名 称	時代	世紀(年号)
-----	-----	----	--------

## 写本と注釈書

1	源氏物語(河内本系) 駿河御譲本 二十三帖の内	重要文化財	鎌倉	正嘉2年<1258>
2	源氏物語 松風(別本系) 伝越部局筆	松浦家伝来	鎌倉	13
3	源氏物語 竹河(河内本系) 伝藤原為家筆		鎌倉	13
4	源氏物語 総角(青表紙本系)		鎌倉	13
5	源氏物語 浮舟(別本系) 伝藤原為家筆		鎌倉	13
6	源氏物語(青表紙本系) 附 桐蒔絵書物箱 本寿院於福(尾張家3代綱誠側室)蔵書 五十六冊の内		室町	天文2年<1533>
7	源氏物語(青表紙本系) 附 桐木目蒔絵書物筆筒 里村紹巴奥書 本寿院於福(尾張家3代綱誠側室)蔵書 五十五冊の内		桃山	天正8年<1580>
8	源氏物語(青表紙本系) 伝八宮良純親王筆 五十四冊の内		江戸	17
9	光源氏系図 三条西実隆編		室町	15-16
10	光源氏物語系図		江戸	17
11	河海抄	十冊の内	江戸	18
12	花屋抄 花屋玉栄著 徳川光友(尾張家2代)蔵書 四冊の内		江戸	慶長8年<1603>
13	万水一露 能登永閑著	六十二冊の内	江戸	17
14	源氏物語玉の小櫛 本居宣長著	九冊の内	江戸	寛政11年<1799>

## 蓬左文庫 展示室1

No.	名 称	時代	世紀(年号)
15	純金葵紋蜀江文沈箱 靈仙院千代姫(尾張家2代光友夫人)所用 重要文化財	江戸	寛永16年<1639>
16	源氏物語画帖 詞書 徳川秀忠(2代将軍)筆 詞五十四枚・絵五十四枚の内	江戸	17
17	白描源氏物語色紙画帖	江戸	17-18
18	源氏物語図屏風 六曲一双	江戸	18
19	源氏物語図屏風 六曲一双	江戸	17
20	源氏物語 花散里・蓬生・篝火 三冊	江戸	19
21	絵入版本 源氏物語 山本春正編 慶安3年(1650)跋 六十冊の内	江戸	承応3年<1654>
22	古瀬戸野田手茶入 銘 蓬生	室町	15-16
23	瀬戸肩衝茶入 銘 手習	江戸	17
24	香木 伽羅 銘 花散里 六十一種名香の内		
25	香木 真南蛮 銘 須磨 六十一種名香の内		
26	香木 真南蛮 銘 野分		
27	源氏香之図	江戸	19

## 蓬左文庫 展示室2

No.	名 称	時代	世紀(年号)
28	修紫田舎源氏 柳亭種彦著・歌川国貞(3代豊国)画 十八冊の内	江戸	文政12～天保13年<1829～42>
29	其由縁鄙洒俳 一筆庵可候等著・一陽斎豊国等画 十四冊の内	江戸	弘化4～元治元年<1847～64>
30	薄紫宇治曙 柳下亭種員等著・一雄斎国貞等画 五冊の内	江戸	嘉永3～安政4年<1850～57>
31	足利絹手染紫 十四冊の内 笠亭仙果・松亭金水著・歌川国貞(3代豊国)等画	江戸	嘉永3～安政4年<1850～57>
32	源氏物語五十四帖 歌川国貞(3代豊国)画	江戸	19
33	東源氏朝顔ゆふらん 歌川国貞(3代豊国)画	江戸	19
34	源氏須摩 歌川国貞(3代豊国)画	江戸	19
35	光氏温泉遊興ノ図 歌川国貞(3代豊国)画	江戸	19
36	扇面散蒔絵貝桶 一對	江戸	19
37	合貝 俊恭院福君(尾張11代齐温夫人)所用	江戸	19
38	源氏物語図屏風 六曲一隻 森野家寄贈	江戸	17-18

は徳川美術館の所蔵品であることを示します。  
出品リストの番号は、展示順を示していません。